

# 新成人と町長の新春対談 ～2022～

このたび新成人を迎えられた皆さん。新成人の代表の5名と町長による、新春対談を実施しました。



後列左から 本山町長、森谷優人さん、青井暖さん、阿部幸佑さん、町公式キャラクター奴さん  
前列左から 原田奈々穂さん、澁谷佳那さん

## ～新成人の抱負～

町長

—あけましておめでとうございます。今日、成人式を迎えられて、このような場をつくって頂くこと、快く受け入れて頂いて、ありがとうございます。それでは、成人の皆さん方との新春対談ということで、今回初めて開催しますので、よろしく願いいたします。それでは、成人式を終えて式の実行委員も終わってほっとしているのかなと思いますけども、新成人としてのこれからの抱負を順に。

阿部さん

—さっきの言葉でも述べさせてもらったんですけど、行動を起こすこと。言葉でああしたい、こうしたいって言うだけじゃなくて、それをしっかりと行動に移せるように。そして、その行動に責任を持てるようにしていきたいと思います。

町長

—責任って、起きた行動に対する責任の取り方、テレビで責任取って辞めますとか、それが本当の責任の取り方かなと思うときもあるけどね。でも、自分がやったことについては、自覚だとか大切なことを、今から考えていくとプラスになっ

ていけばいいかなど。責任の重さって徐々に感じると思うけどね。ぜひ頑張ってください。

原田さん

—新成人の意見発表でも述べさせて頂いたんですけど、私は、環境問題について興味を持っていて、大学でもずっと環境問題とか環境にまつわることを勉強していて、環境についてはもっと意識しなきゃいけないし、もっと知られるべきだなんていう風に、改めて大学の講義とかを通して思っています。教授達も、本当はこういう意味じゃないのに、間違っただまっちゃってるんだよね、悲しいんだよねっていう話を、よく講義の中でされているので、そういう間違っただまっちゃってる知識っていうものをしっかり正した状態で、多くの人に知ってもらえるように、活躍できるような人材になれるように、大学の講義とか研究室の活動とかボランティア活動等を通して、なっていきたいなという風に思っています。

町長

—先ほども聞いてて、とても環境のことを意識されてるんですね。松田町も、実は今日本当は言わなきゃいけなかったことで、言いそびれちゃったんですけど、SDGs。これはもう当たり前だもんね。全ての会社がSDGsを以前に比べてやっているところが多いと思うんだけど、SDGs 未来都市として国がいくつか選定をする制度があって、今、全国で確か110ぐらいしかない中で、神奈川県の中では6自治体だけ。政令指定都市、横浜、川崎、相模原と、あとこの辺で言うと小田原市、鎌倉市の5つ。6番目がなんと松田町。（神奈川県で）14の町村があるんだけど、14の町村で松田町だけがSDGsの未来都市に選定されている。なので、環境も然り、人権も然り、誰一人取り残さないっていう風に、という、特に17項目で169のターゲットのうちで言うと、7番目が環境（クリーンエネルギー）だよね。大切なところだと思うので、これからは環境問題については色々なものについて、ど真ん中の

で、しっかりと頑張ってもらって。もし、環境って話だけど、役場でもそういう仕事もあるので、2年後、もしよかったら（採用試験に）チャレンジしてもらえたらと思うので。ありがとうございます。

青井さん

—先の2人が凄い良い事を言っているのですが、ちょっと言いづらいんですけど、今年の抱負としては大学の単位を（笑い）。

町長

—大事よ。卒業しなきゃ意味ないんだから（笑い）。

青井さん

—今のところは、単位が危ないってことはないんですけど、しっかりフル単でとって行って、後々自分のやりたいことに時間を使いたいのので、今のうちにしっかり単位をとって、他のことに集中できるようにしたいので、本当に頑張っただまっちゃってる単位をとっていきなさいなと思います。

町長

—3年生のときって大事だもんね。4年生でじっくりというか、本当に自分のやりたいこととかをやればね。ただ、3年生って学校の単位もそうだけど、就職活動も始まるでしょ。二刀流、三刀流でやらなきゃいけないから大変だけど、卒業できないと就職できないからね。ぜひ頑張ってください。

澁谷さん

—成人式を終えて、まだ、一応未成年なんですけど、成人になって、大人になったっていう自覚がまだないので、少しずつ自覚していけたらなって



いうのと、でも、成人式を迎えたからここから大人になります、(明確に)何かが変わりますっていうのは、基本的にお酒が飲める、タバコが吸えるぐらいだと思っているので、少しずつ、自分の中で、大学での勉強とか、あと自分の生活していく中とかで色々学びを深めたりとか、経験して行って、社会に貢献できたりとか。大人としての活躍できる場を、何か見つけていけたらなって思っています。

町長

—今、皆さん学生で、ある意味守られているときもあるかもしれないけど、後々考えたときに、学生のときにしかできなかったことをやるときよかったなって、後で思ったりすることがあると思う。私は、大学生のときは、自分自身がどういう学びをするだとか、どういう生き方をするかによっては、大学はどこだって一緒だと思うんだよね。入ったときに、入口は違うだけであって。なので、そうやってきた中で、一番大学生活で私がよかったと思うのは、友達を沢山作ったことだね。単位は、卒業できるギリギリで(笑い)。何も、100点は求めなくてもいいわけだよ。80点でよければ、80点で。あと20点の分は、しっかり遊びとか友達を作るとか、そういうことをしていくと、今まで見えてなかったことができたりとか、やったことないことにチャレンジするとかして、(大学生活の)あと2年間を過ごされると、いま澁谷さんが言われたようなことがもっと見えてきて、色んなことが楽しくなるかなって感じがしますね。いいことだと思います。

森谷さん

—僕も、成人式を経て大人になったというところで、あまりまだ実感は湧いてないです。まだ、僕は大学に行っているんで、学生という身分はあるんですけど、成人式を経て大人になったっていうことで、大人の自覚っていうのを持って、今後勉強をやっていきたいと思っています。ま

た、勉強もそうなんですけど、さっき町長が仰っていたように、友達っていうところも大事にしていきたい。成人式でも久しぶりに中学校の友達に会ったり、小学校の友達に会ったりして、凄く楽しかったんで、そういった小中学校の地元の友達っていうのもあるし、高校、大学の友達という、友達の輪を広げていくということも、大人として節度を持ってっていうところはあると思うのと、勉強も大事だと思うんですけど、町長の仰っていたとおり、友達というものも、大学での勉強と同じように大事だと僕は思っているんで、勉強と友達の関係っていうところで、大人として頑張っていきたい。節度を持って取り組んでいきたいと思っております。



町長

—松田町役場で就職の面接をしたりするときなんか、あまり聞けないんだけど、お友達何人ぐらいいるって聞くときがたまにあるんですよ。学力はもの凄くいいんだけど、緊張もされてるんだけど、それだけじゃ難しくて、コミュニケーション能力も必要。これはなかなか聞けないけど、大学でどんな遊びをしてきたとかね。麻雀をやりましたとか。色んな経験をしているとクリエイティブなことが意外と出てくるから。アクティブラーニングとかいうのもあるけど、キャリア教育って行って、勉強だけじゃなくて現場とか色んなことを経験していくのはいいと思う。遊びって、子ども達を見ててもそうなんだけど、子どもって遊びの天才だと思ってるわけよ。しかし、あれやっちゃ駄目、これやっちゃ駄目。せ

っかくの遊びの天才が伸びていくところをね。命守んなきゃいけないから、危ないっていうのはあるにしても、変に邪魔して子ども達の伸びしろを、あれしちゃうてるのかなって気もする。今だからこそできることとして、色んな経験をしてもらえれば、結果的に就職するときにプラスになる。今日だって、ちょっと気楽にしつつだけど、緊張してる？してないね。良かった(笑い)。してなければいいんだけど、就職活動とかって緊張するもんね。でも、堂々と自分がやったことを自分の言葉で伝えるって、もの凄く大事なこと。経験したから話せるんだもん。人から聞いたことって忘れちゃうじゃん。それじゃ嘘になっちゃうから。自分自身に自信を持てるように、大学生活を送ってください。ありがとうございます。

## ～松田町の思い出～

町長

—そしたら次にテーマを変えて、松田町で過ごした子どもの頃の思い出。子どもの頃、特に印象に残ったところを、また順にいいでしょうか。

阿部さん

—今、東京の大学に通ってるんですけど、東京だと建物が高かったり、今住んでる松田町と比べると都会って感じで。それで、思い出のハーブガーデンとかみたいな、ああいう山の上に何か建物があったり、自然に囲まれてローラーすべり台みたいなのをするっていうのは、大学の周辺だと公園はあっても、そういう大きなものが



なくて、そういうことを踏まえると、幼稚園のときや小学校の校外学習とかで、そういうのを経験できたこと、身近にそういう施設や場所があるっていうのはいいことだなと思います。

町長

—ありがとうございます。ぜひ、お子さんができたときには松田町に住んでね。お家の近くに、お父さんとお母さんの近くに、子ども連れて住んでくれるとね。それでは、原田さんお願いします。

原田さん

—小さい頃は、よく言えば活発な子なんですけど、色んなところを駆け回って、よく怪我をしてって、子どもだったので、怪我を沢山した子ども時代だったんですけど、大人になるにつれて、周りの目が気になるようになって、活発な部分を隠すようになっていったなと思って。そうすると、子どもの頃ってあんなに人見知りとかしてなかったのに、何で今人見知りしてるんだろうっていう風に、子どもの頃に比べて内気になっちゃったなってよく思います。開放的な松田町だったから、そういう風になれたのかなって思うところが最近ありますね。

町長

—多分、一般的にいうと、大人になったんだね。理性が働くようになったんでしょね。でも、子どもの頃って理性よりも欲望、遊びたいとか、あれしたい、これしたいが多かったけど段々と理性が働くようになって。でも、こうやって仲間と会うときになったら急に童心に戻るといえるか、気楽にね。そういった点でいうと、今言ってもらったことは忘れずに、友達も大切にしてもらって、将来またそんな話ができるようになっていくといいですね。

青井さん

—松田町での小学校から中学校にかけての思い出で言うと、寒田神社での夏祭り、あと花火大会、後は福祉センターで春のお祭りがありましたし、JRの松田駅付近でもお祭りがあったので、よく

そこに友達と一緒に遊びに行ったのが凄い思い出ですね。小学生の頃だと、友達とだけであんまり遠くに出たりとかはしなかったので、その分そういうところで友達とワイワイ遊ぶのは凄く楽しかったので、いい思い出だなと思います。

町長

—今は、コロナでなかなかそういったイベントもないし、ここのところ無くなったけど、昔は子ども会っていうのがあったからね。子ども会さんで、ティーボールやったりとか、子ども会で大行列やったりとか、そういった子ども同士の参加できるイベントもあったけど、今はほんとに無くなっちゃってね。子ども会に入る人も減ってきてしまったから。(阿部さんの)お父さん、最後に子ども会の会長をやってくれたんだよね。本当に苦労されてたけど。子どもの頃はああいうように、大人がステージだけ作って、子どもが遊べるような環境をつくるっていうのは、非常に大切だなと今思っています。今聞いてても、改めて感じる場所があるし、もっと子どもが主役なまちづくりをしていきたいなと改めて感じました。

澁谷さん

—今、大学で教育の関係を勉強しているんですけど、友達と幼少期の思い出とか、どういう遊びをしたかみたいな話を、授業の中で話していると、都会の方に住んでる子は、川で遊んだとか山を駆け巡ったみたいな話がなくて。私が幼稚園のときに、川で草をポンってやって「釣り」とか言って、釣れるわけがないのに「釣り」とか言ってたって話とかをすると、川あるの？みたいな。川あるの、山あるの？みたいな感じで言われるんです。都会に住んでると便利なことももちろんあるし、逆に田舎だからいいことがあるっていうのも感じる時もあるんですけど、松田町の、山もあって川もあってっていう自然豊かなところが、幼少期の中でも凄い記憶に残ってるのが体験の中でも凄い多いので、そういう駆け巡ったり

結構暴れ散らしてたなっていう思い出です。

町長

—そのときのあんな可愛い子がこんなに大きくなってね、とか地域の人が色々とね。でも、だいたい松田町の良さって言うと自然が豊かで始まってということもあるからね。それで育まれた松田っ子だからね。それはずっと忘れないでね。大切なことだと思うんで。

森谷さん

—松田小、松田中とここで学ばせて頂いたんですけど、今松田小学校が建て替えをやって、初詣に行くときに歩いて行ったのでそれを見たんですけど、凄い綺麗になってるのを見ました。と同時に、僕達が学んだところが壊されてるっていうのが悲しいかなっていうのが。僕は、第二幼稚園だったので、それが今はさくら保育園になってるというのがあります。そういうのを親と話したときに、両親二人とも同じ松田小学校出身なんですけど、松田小学校で同じ校舎で学んだということで、結構歴史があると感じます。だけど、松田中学校はそのままっていうところですよ。親と一緒に校舎で学んだっていうのは、結構感慨深いって思います。あとは、松田は凄い歴史があって、松田百年の本を小学校の頃もらったりしたなっていうのを思い出したので。歴史がある町で、親と一緒に校舎で学べたっていうのは、思い出としてあると思いました。

町長

—今小学校の話も頂いて、本当は挨拶でも松田小学校の話をする予定だったんですけど、時間の都合で話せなかったけれど、大事な話だよ、教育的に。築50年ぐらい経って、もう今回建て替えようってことで、本来ならもう少し長寿命化で寿命を延ばすってやり方をすれば後10年ぐらいはよかったんだけど。ただ、補助金をもらいながらやっていく中で、今回木造で建物を建てるといいうね。外から見るとパツと見て、これ木造なのか？って怪しく見えちゃうんだけど、実は

木造の建物で全国で3例目（※公立小学校において、木造3階建ての校舎は全国で3例目）。神奈川県では他に1つもない。神奈川県で初めて、松田町の自慢になってくる。意外と知らなかったでしょ？松田町にこんなのが建っているって。それは、本当に皆様方のお父さん、お母さん達のご理解によるもの。ただ、SDGsという観点からいうと、大切なのは今まで使ってた建物を無下にしちゃ駄目なんだよね。なので、2月の末ごろからイベント的に、最後3月頃から旧校舎を壊し始めるんで、壊す前に皆さんに来てもらって、落書きとかしちゃダメだけど、学んだ教室の中で思い出を語るだとか、そういった企画を考えているので、ぜひそのときにはまた皆さんが楽しんでもらえるようなことをしたい。それで、子ども達に新しい木造校舎に移ってもらえれば。木造って100年ぐらいもつからね。法隆寺だってそうだし、木っていうのは使い方によっては100年、200年もつから。今回、そういったものを作らせてもらって、私も完成を楽しみにしています。

## ～松田町を紹介～

町長

—ご出身どこ？って、大学に行ったり、仕事したって色々なところで聞かれると思うけど、どう答えているかな？

阿部さん

—まずは神奈川県。神奈川県で、友達からどこ？って言われたら松田って言うか、小田原の傍か、秦野の近くって言うと、小田原と秦野は知ってくださってる人が多いので、その傍なんだっていう風に。松田ってことは、あんまり言わないですね。

町長

—言わないか。そんな中で、段々近しくなっていくときに、松田って何がある？って聞かれたらなんて答えるかな。

阿部さん

—自然です。あとは、新松田駅が開成とかに比べたら電車が止まるじゃないですか。そういうのは便利だなって、通ってて思いますね。

町長

—（新松田駅は）快速急行が停まるよね。開成が今、急行が停まるようになったけど、快速急行が新松田で、急行に変わって小田原の方に行ったりね。だから、一応松田が起点っていうね。他には？って言われたら？

阿部さん

—ちょっと思いつかない。

町長

—思いつかないか。こちらの営業不足もあるかな（笑い）。それでは、原田さん、同じように、出身地はどこ？

原田さん

—出身どこ？って言われたら、まず最初に松田町って言って、どこって言われたら小田原のすぐ近くだよって、最初に松田を出してから小田原って言って、小田原で通じなかったら箱根の方だよって、有名なところを出して行ってっていう感じですね。

町長

—松田町に何がある？

原田さん

—交通が便利だよ、あと山と川があるよって言います。

町長

—美味しいものは何かあるとか。

原田さん

—ミカンって言います

町長

—ミカン美味しいよね。今年ミカン食べた？

原田さん

—食べていないです。毎年食べてますけど、今年はまだ手に入ってないです。



町長

— 手に入っていないか、コロナの影響で流通が滞ったりしてしまったかな。それでは、青井さん、出身どこって言われたら？

青井さん

— とりあえず、神奈川の小田原の方って言いますね。詳しく聞かれたら、松田町ってところだよって。

町長

— 話をそこで伸ばすためには？それで終わったら、はい次、みたいになっちゃうじゃん。実は松田町は？

青井さん

— 桜が綺麗だよって言ってます。松田山の桜があるじゃないですか。他と違うのは、河津桜を使ってるので、早いじゃないですか。高校の頃に見たことあるのが、雪が降ってる中で桜が咲いているところ、それってなかなか見ない景色だと思ったんですよ。だから、それって松田町のある意味強みじゃないかなって思います。美味しい物って言われたら、前に授業で聞かれたことがあったんですよ。そしたら桜ソフトって答えましたね。ハーブ館の売店に売ってる、桜のソフトクリーム。あれは自分、子どもの頃に食べて美味しいなって思ったんで。

町長

— あれ、いくらするの？

青井さん

— 300円とかぐらいだったと思います。

町長

— じゃあ、今度一緒に食べに行こうか？今度一緒に食べに行かない？って誘わなきゃいけないね。他はどうかな。

青井さん

— 他にですか？

町長

— ソフトクリームとかの食べ物、あと場所は桜だね。今度もしそういうことがあったら言って。桜もいいんだけど、あそこからは富士山も一緒に見えるんだよね。皆さん方は、普通に富士山が見えるから当たり前になっちゃってるかもしれないけど、富士山を見えながら河津桜見えるってなかなか場所が少ないみたいだから。都市部に行けば行くほど、富士山は、憧れみたいだよ。この間、横芝光町（※千葉県横芝光町。松田町の姉妹町。）の町長から1月2日に電話があって、何かな？と思ったら、今近くにいるんだって言うわけよ。何しに来たんですかって聞いたら、今日は富士山を見に来たって。千葉からも見えるはずだと思ったんだけど、千葉からだ和小っちゃいから。それをわざわざ来てくれて。そういった人がいるからね、富士山は。澁谷さんは、どこ出身？

澁谷さん

— 私は、神奈川の西の方ってざっくり言います。

町長

— 西の方だと、御殿場とかって言われてしまわない？

澁谷さん

— それは静岡だけど、御殿場も行けなくはないよ、みたいな。車で簡単に行けるよっていう風に言いますね。

町長

— そうだよな。西の方とか言うと、すぐ御殿場って言う人がいるんだよね。御殿場は静岡だから。神奈川じゃないよってね。神奈川って言うと都会、イコール横浜と川崎が神奈川と思っている人が

いるよね、地方の人からすると。神奈川だから都会でしょ？って言われたら何て答える？

澁谷さん

ーいや、山と川が綺麗だよって言います。

町長

ー山と川あるの？って言う人いるよね。神奈川でしょ？て聞かれたら？

澁谷さん

ーあるよって。神奈川の西の方は、山と川だよって。山と川で構成されてるよって言います。

町長

ー遊び行くところあるの？って言われたら。

澁谷さん

ー現代的な遊びというか、カフェ巡りとか映画を見るとか、そういうのをしたいんだったら、小田原行ったり海老名行ったりとかするけど、普通に綺麗な景色を見たいとかだったら、それこそ松田山登れば見れるよとか、そういう話をしますね。

町長

ー例えば、友達を呼んでおもてなしをするとき、ここは絶対連れて行くスポットってどこ？お勧め。

澁谷さん

ー私、実際に高校生のときに友達と遊んで、松田に来てもらったことがあったんですけど、そのときちょうど2月とかで、桜祭りがやっていたので、友達には歩ける格好で来いってことだけ伝えて、山に連行して（笑い）。私は毎年、山に登って桜を見てるので、綺麗だなぐらいにしか思

わないんですけど、松田より遠い横浜寄りの方の子とかを連れてくると、自然豊かってこととか、桜が綺麗とか、あと富士山が見えるってことも凄い感動してくれて。周りから見たらこんな魅力的なんだって思ったことがあるので、多分また桜を見に連れて行くと思います。

町長

ーぜひよろしくお願いします。森谷さんはどこ出身って聞かれて。

森谷さん

ーとりあえず神奈川県って言って、でも横浜じゃない、と。

町長

ーじゃあ、どこ？

森谷さん

ーどこ？って言われると、田舎の方って言います。田舎の方だよって濁して。それで、松田ってどこだよって言います。知ってる？って言って、知らなかったら小田原ら辺。小田原知ってる？って言って、そこから有名どころポンポンって出してその辺って感じで。

町長

ー小田原って皆さん言うよね。小田原は新幹線が停まるから、皆さん何となく知ってるのかね。私としては、悔しいね。もし、お友達が来たらどこに連れて行く？

森谷さん

ー僕は家が松田山の麓ら辺にあるので、松田山めっちゃ綺麗だよって言って、そこから見える、さっき仰っていた富士山も。富士山見えるよって言います。結構でかく見えるよって、誘っていくのは結構いいんじゃないかなって。富士山は結構、みんな、えーって言われることも多いので。当たり前にならなくなって思ったりするんですけど、僕は。都会とか、他の地方の人にとっては結構凄いことだなって。松田山から見ると、富士山は結構大きく見えるし、綺麗に見えたりもするんで、そこは1つ松田の武器だなって。





町長

—昨日からだよね。皆さん方をおもてなしするために、3日間だけイルミネーションをね。

森谷さん

—見ました。

町長

—明日は少し天気がよろしくないなので、お時間があればね。今日は同窓会かな。直接夜な夜な行くのもいいし、一応明日までやってるから。そういうのも含めて、自分達がまず体験をして。今日は、五感の話をしたけど、自分の目で見て、自分の耳で聞いて、匂いを嗅いで、触ってみる。そういう自分で体験したことは絶対忘れないよね。

## ～これからの松田町～

町長

—最後に町長として皆さん方に聞きたいことが。こんな町になってほしい、こんな町だったら、私必ず松田町に住みます。みたいなのがあったら。

阿部さん

—今みたいな、人口が1万人ぐらいっていうのが、最初は少ないなって感じてたんですけど、東京に行く人が多くて。それが自分はあんまり得意じゃないっていうか。高いビルがあってとか、人がいっぱいって環境があんまり好きじゃないので。もし、そういう風に発展してくるとなったら、僕は嫌だなと思って。今みたいに少ないかもしれないけど、繋がりが凄く強くて、それこそ森谷君も言ってたけど、親が育ったところで自分も学ぶっていうのは、人口が少ないゆえにというか、繋がりがあからこそできることだと思うので、今より発展してしまうのはいいことではあるかもしれないけど、住んでる自分としては寂しいというか、今のままでも満足というか、暮らしていけるので、これからも維持というか、衰退していかなければいいのかなって思っています。

町長

—そういう人達ばかりだったら、安心して私も仕事できるんだけどね。もっともっていう人もいるからね。でも、松田中学校は改修工事をしたいと考えてましてね。小学校は耐震性が少しずつ衰えてきてたけど、松田中学校の校舎はそれより1年古いんだけど、しっかりしてるんだよね。だから、中学校は改修工事をして、できたらグラウンドに人工芝を張って、もう少しサッカーをやるにしてもフットサルをやるにしても、雨降ったらすぐに使えないような形じゃなくしてね。古き良きものを活かしつつ、新しいものに挑戦するっていうリニューアルを考えています。私も後3年と8ヶ月とちょっとしか任期がないので、その間にやっていきたいと思えます。貴重なご意見ありがとうございました。

原田さん

—現状、特に不満はないと言えない状況ですけど、遊ぶってなったらどこかの町に行くみたいなのが。自然の中で遊ぶっていうのだったら、全然松田町で事足りてるので、そのまま町で遊んでるんですけど、ただ、横浜の方の友達と遊ぶってなると、みんなそれだけだと物足りなくなっちゃうので、ショッピングモールのある海老名とか町田とかに行くっていうのが、当たり前みたいなところがあるので。現状、車とかで行けば、小田原もあるし住む分には何も不便はないのかな、と思って生きてきてるので。ただ、若い子が町で遊ぶっていう部分だけを考えると、そこだけが足りないのかなと思いつつ、でもいらぬ気もする。他の町があるので。それを、わざわざ松田のいいところ潰してまでやることなのかなと思いつつっていうところですかね。入れるとしたらみたいなのところですね。松田は松田でいいところあるから、そのままいいんじゃないかなっていう風に思ってます。

町長

—松田って、意外と待ち合わせしたり何かしたり

集まりやすいって言うんだよね。御殿場線使ってもそう、小田原からも来る人もそうだよね。交通の結節点って言われてね。車を使ってる人も、高速下りたらすぐ、みたいな。そういったものを活かす場所ではあるわけね。それで、交通の要衝って言われて、昔から経済的に発展していった。そこに人が沢山流れるから、そこで物を売ろうかって、この良さって他の町にはないところなんだよね。それを今までと同じような感じていくと、ただ衰退をしちゃうんで。少し今の時代に沿った新しいお店だとか、魅力のあるお店があるよね。例えば、駅の南口が今ロータリーが綺麗になった。綺麗になったはいいけど、お店が減った。どこ行っちゃったの？ってね。それってまちづくりとは私は思わないので。やはり、そういった生業をするお店の人も入って、ちょうどいいものになると思うところもあるので、今JRと小田急の駅の間は、車がいっぱい通って、皆さんすり抜けていく状況で、事故がよく起きなくなって感覚で思うけども、あぁいったところを無くしつつ、お店もちゃんとあれば、松田町ってこんなに駅が綺麗になってって自慢ができるぐらいにやらないと、不便な町になるかなと思ったりします。スーパーも駅前に無かったりするから。スーパーも、これからウォークスルーみたいな形のネット上で見れて、これとこれって言ったら自動運転で持ってきたりドローンで飛んできたり。要は、スーパーが松田町に無くたって、もうそういう風な時代になるんじゃないかなと思うわけよ。だから、そういう扱いができるような、そういった仕組みをもう少し作るとね。あれが欲しい、これが欲しいっていうよりもデジタル化をやるようにしたらいいのかなって思ったりもします。

青井さん

—率直な感想は、楽しむ場所がないので、今のご時世的にはあんまりいいとは言えないんですけど、カラオケだったりボーリング場だったりがある

と。大人になると、大学生なんてよくあるんですけど、飲み屋に飲みに行くじゃないですか。その後、時間があれば終電までカラオケに行くとかってよくやってるんですけど、そういうこともできますし。終電も気にせずできるようになるので、そういうのがあったら嬉しいなっていうのは思います。

町長

—中学生とかにアンケートをとったりしても、ゲーセンが欲しいとか、今言うボーリング場が、とか、そこに人が集まりやすい場所として、本格的にやっていけば、そういうのもありだと思うんだよね。要は、そこで何で長く続いていかなくて言う、経済的に収支が合わなくなると、みんな出ていくところもあるからね。それで言うと、車に乗ってわざわざ小田原まで行かないといけないしね。だけど、ここの文化センターだって映画を見れるようにスクリーンだとかプロジェクターも新しく変えたりとかして、今後はアーバンスポーツって言われるオリンピック種目になったクライミングもやってるし、BMXや自転車、あとスケボーとか、あぁいった子どもの遊び場みたいなのも作って、そうすると、楽しかったなと思ってくれたりするかね。大井町には、人工のサーフィン場ができてる。凄いよ、見に行っただけ。あぁいったものが、スポーツという、この辺に来るとあちこちに遊ぶところがあるなっていう風になってくれるといいかなと。ただ、青井さんが求めているのは、酒飲んだ後の二次会、三次会なわけでしょ（笑い）。



青井さん

—それもありませんけど、普通に楽しむ場としても。

町長

—そういう期待に応えられるように頑張っ  
ていきますんで、ぜひ参加してみてください。そ  
れでは澁谷さん。

澁谷さん

—現状、不満があるとかいうわけじゃないんです  
けど、さっき私申し上げたとおり教育の勉強を  
してるんですけど、松田は学校に1人1台タブ  
レットを持ってたりとか、周りから話を聞いて  
いると松田町って凄い進んでいるなって風に分  
かっています。あとは、医療費の助成が高校生まで延  
びて、負担がないとか。そういうのを聞いてると、  
出生率下がってるとか、人が出ていってると  
いうのもあると思うんですけど、子育てしやす  
いとか教育って面において、凄い良い町だ  
なって感じているので、これからは、周りの横浜とか  
大きい都市って、お金がそれだけあるし、人も  
いるしって言うので何でもかんでもすぐ進むと思  
うんですけど、松田町の1万人という小さい規  
模の中でも、それだけ教育の面において他の市  
とか大きいところよりも、優れている点が沢  
山あるなって風に周りの人と話したり、大学  
で勉強して感じているので、衰退していか  
ないようになって言うところとちょっと変だ  
とは思いますが、これからは発展しつつ、みんなが魅力に感  
じるような、教育とかそういうのがいっぱい  
できていけたらなっていう風に、凄い思  
います。

町長

—ありがとうございます。ぜひ宣伝して下  
さい。色んな人達がどういう風な角度で物  
事を見るかですけど、よくインフラ整備  
って言う施設とかハードって言うことを、  
ハードって言うのは箱物とか道路とかま  
ちづくりってなるけど、私はどっちか  
って言えば、まちづくりは人作りと思  
っているんですね。人作りをしないから、  
私は教育になるべく費用を割り振って、  
人材育成

を。ICT教育だって、他がやってないときに  
これからデジタル社会に必ずなっていく  
のを見越した中で、毎年1年ずつ。ち  
ょうど皆さん方が6年生のときに、私  
はこの立場に就任して、卒業式のとき  
に私が祝辞を読んだんじゃないかと思  
うんですけど。そこから8年ぐらい経  
って、ようやく小学1年生から中学3  
年生まで全員1台ずつ持たせて、遊  
びから始まるんだろけどね。社会に  
出ても恥ずかしくないように、我々今  
後もやっていくつもりでいるので。そ  
こには、先生達も大変苦勞もあつた  
と思うんですけどね。もしよかつたら、  
澁谷さんも松田町役場に

森谷さん

—僕は、現状の松田は結構いいと思  
うんですけど、さっき町長もお話しを  
されたとおり、駅前ところはちょっと  
他の駅とかに劣るかなって、正直思  
うところがある。そこで、さっき青  
井君が言ったとおり、遊びの施設だ  
ったりって言うのも作ってもいいと思  
うんですけど、そうすると松田らし  
くなくなっちゃうって言うところも、  
結構懸念しているところがあるので、  
新松田駅前の通り、ロマンス通りが  
商店街としてどんどん発展していき  
って言うのは人の繋がりが温かい松  
田としては、大型ショッピングモ  
ールとかを入れるって言うのじゃな  
くて、商店街としてどんどん発展し  
ていくと凄い松田らしくなって駅前  
も凄い充実して、みたいに結構思  
ったりしたかなって感じています。で  
も、自然と人の温かさって言うところ  
が、松田の凄いいいところだと思  
うので、そこを活かした発展って  
いうところがあると、もっと住みやす  
くなるんじゃないかなって思  
いました。

町長

—ありがとうございます。まさにさ  
っき、まちづくりは人作りって  
言った話だけでも、例えば、大型  
ショッピングモールみたいなもの  
を作ればそれがまちづくりか？  
って言えば、それは大間違い

なんだよね。松田町っていうのは、例えば百貨店って言葉聞いたことある？大型デパートを昔、百貨店って言ってたよね。小田急百貨店とか言ってた。でも、三十貨店でも五十貨店でも、逆に言葉を使うとね、百なくてもいいじゃん？松田町に三十店舗ぐらいお店が元々ある。その三十店舗を回れるようにしていけばいい。ただ、皆さん方が買い物行くなってなつたときは車で行って1つのところのお魚屋さん、お肉屋さん、野菜屋さんがあって、あとドラッグストアがあって便利って言って、みんなそこに行っちゃうんだから、松田のお店が成り立たなくなってしまう。結果的に、自分達が自分達の首を絞めちゃってる状態、そういった格好なのね。そうならないためには、お店も努力しないといけないところは沢山あると思う。魅力がね。来てもらえるためには。交通的には安心して安全な、あの駅前周辺がね。今、無法地帯だから。自転車、タクシー、バス、自家用車、歩き。雨の日なんか、傘がガチャガチャしている無法地帯を、うまくやらないといけないけども、でも、昔ながらのお店をそこでなくしてしまうような形でいっちゃうといけないし、阿部君がさっき話したように、あまりビルみたいに高く作り過ぎちゃっても富士山がせっかくこの角度で見えたのに、富士山が見えなくなった、とか。そういうような町にはしないように、今後やっていかないと。せっかく帰ってきたら、新しくなってるけど、何か寂しくなってるのはね。

町長

— 皆さん方からのご意見を参考にしながら、今後やっていきますんで。松田町の LINE とか、ホームページとかを見てもらうと、何かしら色々なことを実はやっているんで、そこで松田町の情報を仕入れてもらって、松田町ってこんなことをやってますって言えるような皆さんになって頂けたら、大変ありがたいなという風に思っています。良い時間になりましたので、初めての

試みでございましたけれども、押しに押しした新春の対談をこれにて終了とさせていただきます。成人、誠におめでとうございます。